

平成30年度 全国学力・学習状況調査分析結果及び今後の取り組みについて

我孫子市立我孫子中学校

この調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行われているものです。本校では下記のように分析し、教育活動の充実に取り組んでまいります。

1. 本校の結果について ○成果が見られる点 ●課題が見られる点

2教科（国語・数学）A問題・B問題ともに全国平均、県平均を越えています。理科は全国平均並みの結果です。今年度の本校の特徴として、次のような点が読み取れました。

<国語>

【国語A（主として知識の問題）】

○すべての設問において、県平均・全国平均を大きく上回る結果となった。主体的・対話的で深い学びを迫り、追及してきている成果が出ていると考えられる。今後も授業の工夫・改善に努め、生徒の確かな学力向上につなげたい。

○選択式の設問では、正答率が高く、文章の内容を正確に読み取る力がついてきている。

●短答式の設問では、選択式に比べてやや正答率が落ちる。読み取ったことをもとに、自分の考えを整理したり、上手に表現したりすることを普段の授業から意識して取り組ませていく必要があると感じる。

【国語B（主として活用の問題）】

○話すこと・聞くことの領域では、A問題と変わらず高水準で正答できている。話の要点を捉えながら聞くことができている。

○選択率は、県平均を大きく上回っている。本文の内容が正確に理解できていることと選択肢の内容の吟味ができているので、今後も正確な読みを継続できるように指導していく。

●書くことの領域や記述式の設問では、県平均を上回っているとはいえ、正答率はそれぞれやや超える程度である。書くことに対する苦手意識をなくせるような取り組みが必要である。

●伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項では、正答率が低い。漢字やことわざなど、漢字の知識や語彙力などを高められるような学習の方法などを身につけさせていきたい。

<数学>

【数学A（主として知識の問題）】

○関数の正答率については近年では良い数値が得られている。

○主として知識に関する問題は、理解の深さの違いはあるにせよ、全国平均を上回っている。

●文字を用いて表された式がどのような意味を持っているのかを正しく認識して考える問題で正答率が少々落ちる結果だった。文字式化された数値をよく理解して日常の数値を正しく表現させる習慣づけがこれからも必要である。

【数学B（主として活用の問題）】

○数学的な事象から必要な情報を抜き出して活用することができている。

○数理計算をうまく活用して問題を解決することができている。

●グラフを活用して列車の通るまでの時間を求める問題がやや苦手であることから、グラフを読み解くことに課題がみられる。今後は数学的な事象を積極的にグラフ化することで、問題を多面的に解決することが必要である。

<理科>

- 基本事項である知識を活用した問題では、全国平均よりも上回っているものが計算・記述ともに多い。
- 実験を行い、時間をかけてグループで話し合いをしたり、現象の理由を考える学習を行ったりした問題については、応用問題であっても全国平均を上回った。
- 1年生の学習内容よりも2年生の学習内容の正答率が高いため、様々な分野をつなげて理解できていない。授業において、既習の学習内容と関連づけて考察したり、理解したりするよう指導する。
- 化学分野を苦手としている生徒が多く、質量パーセント濃度の指摘について半数以上の生徒が誤答である。そのため、計算問題の考え方を定着させられるように、授業内で繰り返し復習を行う。

<質問紙>

- 規範意識**「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」、「学校の校則を守っている」と答えた生徒は、昨年度よりも増加した。
- 社会への関心・貢献**「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」生徒は、全国平均よりも大幅に多く、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る、時々見る」生徒が多く、社会への関心が高い。
- 対話的な学び**「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と肯定的に答えた生徒は、昨年度よりも増加し、全国平均を大幅に超えている。
- 生活習慣**「朝食を毎日食べる」、「毎日、同じ時刻に起きている」生徒が例年よりも下がっており、県・国の平均より低い。
- 自尊感情**「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望を持っている、どちらかといえば当てはまる」が例年よりも下がっている。
- 家庭学習**「家で、自分で計画を立てて勉強している、どちらかといえばしている」生徒が例年とは大きく変わらないが、国の平均より低い。また、「家で学校の宿題をしている」、「予習・復習をしている、どちらかというとしている」生徒も国の平均より低い。
- 地域の行事**「地域の行事に参加している」「どちらかといえば参加している」生徒が国の平均より低く、地域行事への参加経験が少ない。

2. 本校の取り組みについて

前述の結果の課題となる点に焦点をあてながら、「授業の充実と学力向上」「郷土に貢献する意欲を高める」「相互理解や寛容の心を育む」こと重点に取り組んでまいります。ご家庭でも「家庭学習の充実」や「地域の行事への参加」などにご協力ください。

- ①個人による振り返りを充実させ、主体的に学習に取り組む自律的学習者を育てること
- ②小グループでの学び合う活動を充実させ、話すこと・聴くことの技能を身に付けさせ、学習内容の知識・理解を広げたり、深めたりし、対話する力を育てること
- ③毎日の朝の会や帰りの会や係活動を充実させ、自治の精神を持って、主体的に生活改善に取り組む姿勢を養うこと
- ④地域の素材を生かした学習指導を充実させ、郷土を愛する心を育むこと
- ⑤道徳の授業を中心とした道徳教育を計画的に行い、他者を思いやることの大切さを考えさせるとともに、自己の生き方について主体的に考える自尊心を育てること